

簡単！スムーズ！

GP-37W2→GP4000 シリーズ

置き換え BOOK

第3版 2015年8月

はじめに

本資料では GP-37W2 を GP4000 シリーズへ置き換える手順や注意点を紹介します。おすすめの代替機種は以下の通りです。

ご使用の機種	代替機種
GP-37W2	GP-4301TW

安全に関する使用上の注意

本誌に掲載している製品を正しくご使用いただくために、以下の用法をお守りください。

- ご使用前に必ずマニュアルおよびその他付属する書類をよくお読みください。
- 据付け・接続・保守は、必ず電気設備の施工法、関連法規などを熟知し、かつ適切な技能を有する方が行うようにしてください。

これらを守らずに使用した場合、人命に関わる重傷や機器の損傷、その他いかなる結果が生じても弊社は一切の責任を負わないものとします。

目次

はじめに	2
第 1 章 仕様比較	4
1.1 GP-4301TW との仕様比較	4
第 2 章 ハードウェアの互換性について	5
2.1 コネクタ位置の違い	5
2.2 タッチパネルの仕様について	6
2.3 表示色について	6
2.4 パネルカット寸法について	6
2.5 転送ケーブルについて	6
2.6 インターフェイスについて	6

2.6.1 シリアルインターフェイスについて	6
2.7 周辺機器、オプション品について	7
2.7.1 バーコードリーダの接続について	7
2.7.2 アイソレーションユニットについて	7
2.8 電源供給部について	7
2.9 消費電力について	7
2.10 ボディの素材/色について	7
第3章 置き換え手順	8
<hr/>	
3.1 作業の流れ	8
3.2 用意するもの	9
3.3 GP-37W2 から画面データを受信する	9
3.4 プロジェクトコンバータで変換する	12
3.5 GP-4301TW へ転送する	18
3.6 ソフトウェアの相違点	22
3.6.1 変換後の相違点	22
第4章 接続機器との通信	23
<hr/>	
4.1 対応通信ドライバー一覧	23
4.2 COM ポートの形状の違い	23
4.3 COM の信号の違い	24
4.3.1 COM1 の信号について	24
4.3.2 COM2 の信号について	25
4.4 マルチリンク接続について	26
4.5 置き換え時のケーブル結線について	27
4.5.1 RS-232C 接続のケーブルを流用したい場合	28
4.5.2 RS-422 接続のケーブルを流用したい場合	28

第1章 仕様比較

1.1 GP-4301TW との仕様比較

		GP-37W2	GP-4301TW
			
表示液晶の種類		モノクロブルーモード LCD	UP! TFT カラーLCD
表示色数		ブルーモード (階調なし)	UP! 65,536 色 (ブリンクなし) / 16,384 色 (ブリンクあり)
表示解像度		QVGA (320×240 ドット)	
パネルカット寸法 (mm)		191.5 (W) ×141.5 (H)	NEW! 156 (W) ×123.5 (H) →2.4 参照
外形寸法 (mm)		207 (W) ×157 (H) ×58 (D)	169.5 (W) ×137 (H) ×59.5 (D)
タッチ方式		マトリックス方式	NEW! アナログ抵抗膜方式 →2.2 参照
メモリ 容量	画面記憶	1M バイト	UP! 8M バイト
	SRAM	96K バイト	UP! 128K バイト
バックアップ電池		2 次電池 (充電式)	
シリアル I/F	COM1	D-Sub25P (メス) RS-232C/422	D-Sub9P (オス) RS-232C →2.6.1 参照
	COM2	-	D-Sub9P (オス) RS-422/485 →2.6.1 参照
イーサネット I/F		-	NEW! 10BASE-T/100BASE-TX
USB I/F	Type A	-	NEW! 有 →2.5 参照
	Type mini B	-	
ツールコネクタ I/F		有	-
プリンタ I/F		-	NEW! USB (Type A)

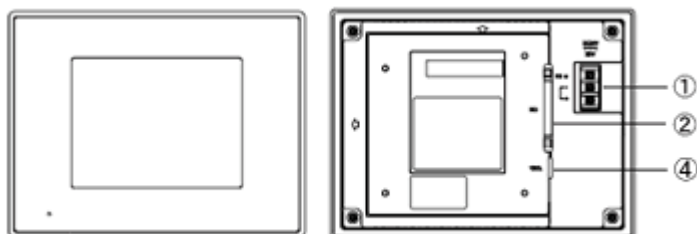
第2章 ハードウェアの互換性について

2.1 コネクタ位置の違い

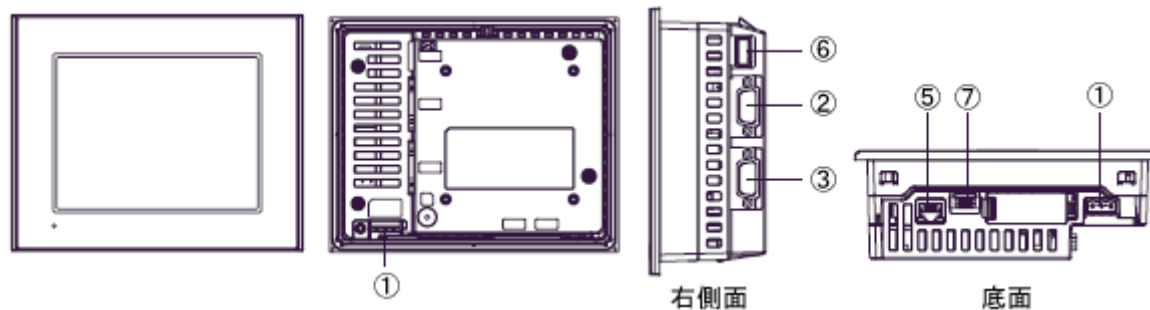
GP-37W2 と GP-4301TW ではコネクタ位置が以下のように異なります。

◆GP-37W2 と GP-4301TW のコネクタ位置

GP-37W2



GP-4301TW



各インターフェイスの名称

	GP-37W2	GP-4301TW
①	電源入力用端子台	電源コネクタ
②	シリアル I/F (COM1)	
③	-	シリアル I/F (COM2)
④	ツールコネクタ	-
⑤	-	イーサネット I/F
⑥	-	USB I/F (Type A)
⑦	-	USB I/F (Type mini B)

2.2 タッチパネルの仕様について

GP-4301TW では「アナログ抵抗膜方式」を採用しています。

「アナログ抵抗膜方式」の場合、異なる 2 ヶ所を同時にタッチしても、その 2 点の間に位置する座標がタッチされたものと認識されますのでご注意ください。

GP-37W2 で 2 点押しを使用していた場合は、GP-Pro EX でスイッチのディレイ機能を用いて 1 点押しの設定に変更してください。

2.3 表示色について

GP-37W2 の液晶はモノクロ LCD ですが GP-4301TW では TFT カラー LCD となり、置き換えると白黒表示からカラー表示に変わります。

モノクロ機種データを GP-Pro EX でカラー機種にコンバートした場合、GP-PRO/PBIII の設定によっては白黒以外の色に変更されて表示される場合があります。コンバート後は、念のため作画画面の描画や部品の表示色をご確認ください。



2.4 パネルカット寸法について

GP-4301TW はサイズが小さくなりました。そのため GP-37W2 とパネルカット寸法が異なります。GP-37W2 から置き換える際は GP-4301TW 取り付け用のアタッチメント（型式：CA4-ATM5-01）をご用意しておりますので、取り付けの際にお求めください。

2.5 転送ケーブルについて

GP-4301TW では、画面データの転送に USB ケーブルまたはイーサネットを使用します。

GP-4301TW で使用できる USB ケーブルは次のとおりです。

	型式	コネクタタイプ	GP 側のコネクタ
オプション品	CA3-USBCB-01	 Type A Type A	USB (Type A)
	ZC9USCBMB1	 Type A Type mini B	USB (Type mini B)
市販品	-		

GP-37W2 で使用していたケーブル（GPW-CB02、GPW-CB03、GP430-CU02-M）は、GP-4301TW では使用できませんのでご注意ください。

2.6 インターフェイスについて

2.6.1 シリアルインターフェイスについて

GP-4301TW の COM ポート（COM1、COM2）は D-Sub 9 ピンのオスです。GP-37W2 の COM1 ポートは D-Sub 25 ピンのメスとなっており、GP-4301TW とピン配列やオス/メスの形状が異なります。

そのため、従来の PLC の接続ケーブルはそのままご使用いただくことができません。従来の接続ケーブルを流用する場合は「[4.5 置き換え時のケーブル結線について](#)」を参照してください。

2.7 周辺機器、オプション品について

2.7.1 バーコードリーダの接続について

GP-4301TW はツールポートを搭載していません。そのため、従来 GP-37W2 のツールポートから接続していたバーコードリーダは使用できません。GP-4301TW では USB インターフェイス (Type A) からバーコードリーダを接続することができます。

GP-4301TW が対応する機種については、「おたすけ Pro !」(<http://www.proface.co.jp/otasuke/>) で確認してください。

2.7.2 アイソレーションユニットについて

GP-37W2 で使用していたアイソレーションユニット (CA2-ISOALL232-01、CA2-ISOALL422-01) は GP-4301TW では使用できません。代わりに GP-4301TW 用のアイソレーションユニット (CA3-ISO232-01) をご使用ください。

2.8 電源供給部について

GP-4301TW は電源部がバネロック方式のコネクタです。そのため、GP-37W2 から置き換える場合は電源ケーブルを変更する必要があります。

2.9 消費電力について

GP-37W2 と GP-4301TW の消費電力は異なります。

GP-37W2	GP-4301TW
20W 以下	10.5W 以下

詳しい電気的仕様はハードウェアマニュアルでご確認ください。

2.10 ボディの素材/色について

GP-37W2 と GP-4301TW のボディ素材、色は次のとおりです。

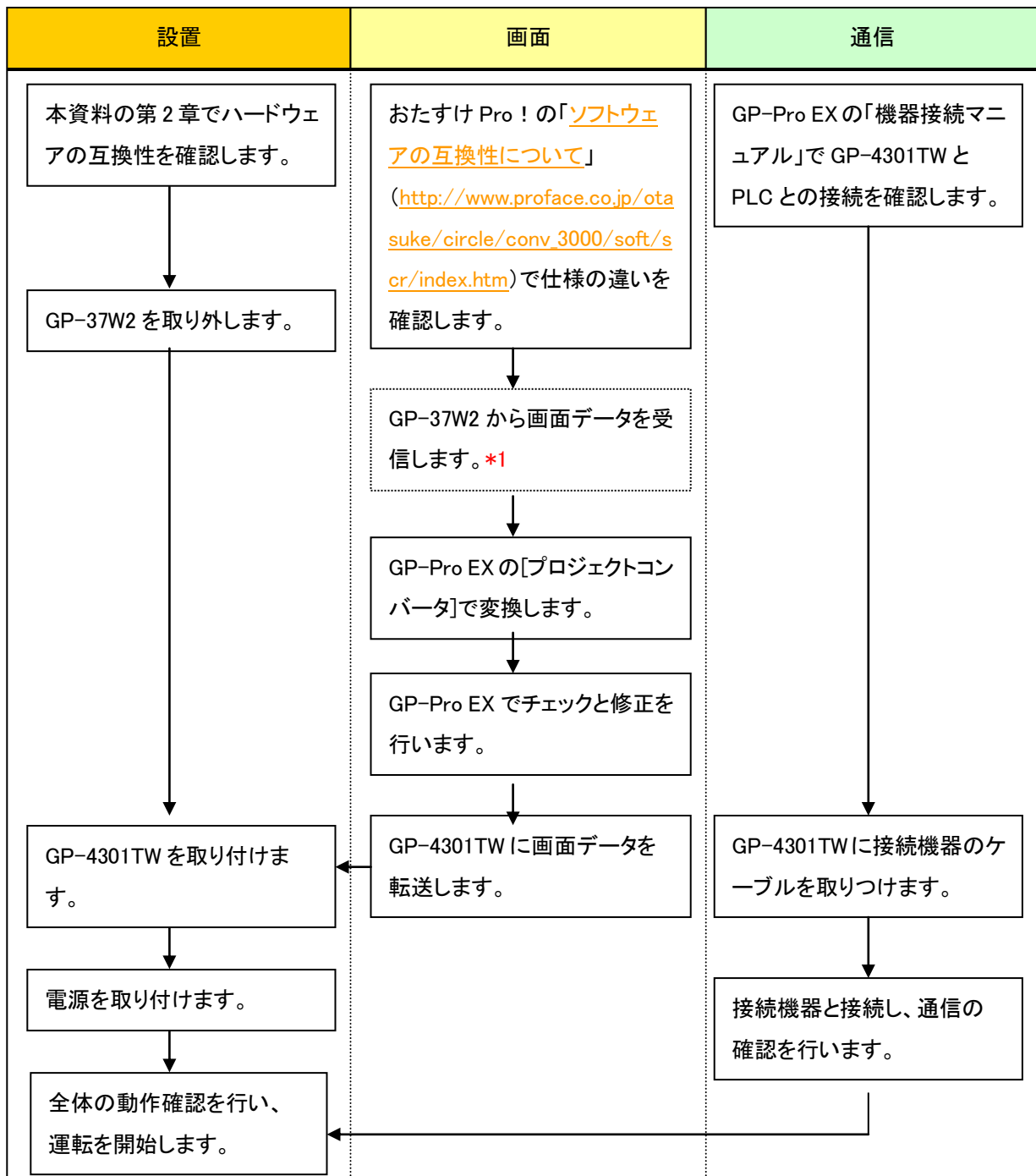
	GP-37W2	GP-4301TW
色	ダークグレー	ライトグレー
素材	樹脂	ガラス入り樹脂

2.11 その他の注意点

- GP4000シリーズを屋外または直射日光のあたる環境で使用しないでください。
- GP4000シリーズを結露が生じている場合は、装置の電源を投入しないでください。
- GP4000シリーズを酸素が無い環境で連続して使用し続けた場合、輝度が低下する場合があります。定期的に盤内を換気してください。

第3章 置き換え手順

3.1 作業の流れ



*1: 画面データが表示器本体にしか残っていない場合のみ本作業が必要です。

3.2 用意するもの

GP-37W2 からデータを受信するために必要なもの *1	GP-PRO/PBIII for Windows V4.0 以上のバージョンがインストールされたパソコン *2
	転送ケーブル（以下の 3 種類が使用できます） <ul style="list-style-type: none"> ・ GPW-CB02 PC 側 : D-sub 9 ピン ・ GPW-CB03 PC 側 : USB *3 ・ GP430-CU02-M または GPW-SET PC 側 : D-sub 25 ピン
GP-37W2 の画面データを変換し、GP-4301TW へ転送するために必要なもの	GP-Pro EX Ver.3.0 以上がインストールされたパソコン
	転送ケーブル（以下の 3 種類が使用できます） <ul style="list-style-type: none"> ・ USB 転送ケーブル（型式 : CA3-USBCB-01） ・ USB データ転送ケーブル（型式 : ZC9USCBMB1） ・ 市販の USB ケーブル（USB Type A/mini B） ※USB メモリ、イーサネット経由での画面送受信も可能です。

*1: 画面データが表示機本体のみに残っている場合に必要です。

*2: GP-37W2 の作画時に使用したソフトウェアと同じ、またはそれ以上のバージョンをご使用ください。

バージョンが不明な場合は最新バージョンのご利用を推奨します。現在、最新のバージョンは GP-PRO/PBIII for Windows C-Package03 (SP2) V7.29 です。GP-PRO/PBIII for Windows C-Package03 V7.0 をお持ちのお客様は「おたすけ Pro!」(<http://www.proface.co.jp/otasuke/>) の「ダウンロードしたい」からダウンロードすることができます。

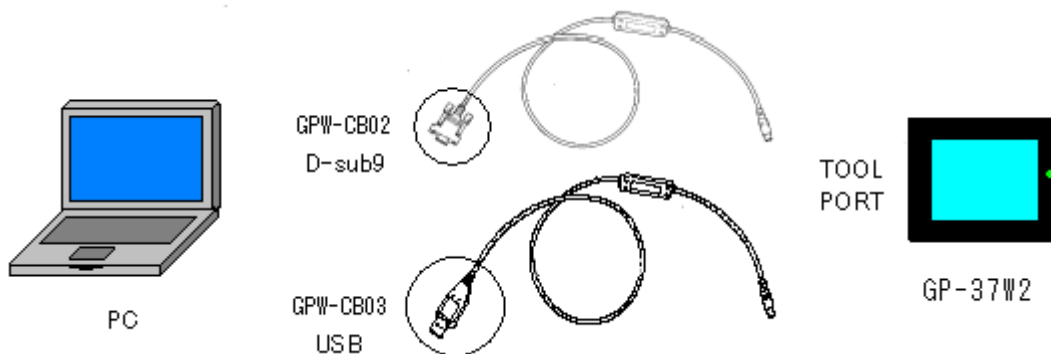
*3: GPW-CB03 は GP-PRO/PBIII for Windows C-Package02 (SP2) V6.23 以降で対応しています。また、別途「おたすけ Pro!」(<http://www.proface.co.jp/otasuke/>) の「ダウンロードしたい」から ドライバのインストール が必要です。

3.3 GP-37W2 から画面データを受信する

ここでは例として、GPW-CB02 または GPW-CB03 を使用して GP-37W2 からデータを受信する方法をご紹介します。なお、画面データのバックアップがある場合、本手順は不要です。[「3.4 プロジェクトコンバー](#)

[タで変換する](#)」へ進んでください。

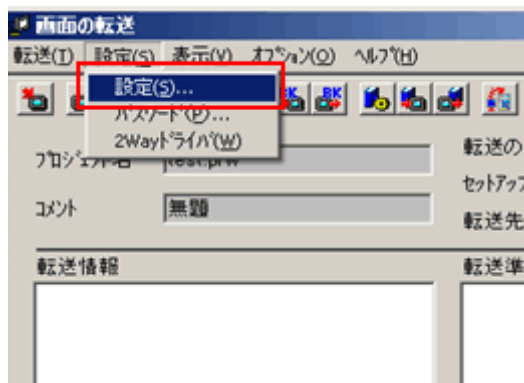
1. GP-37W2 に転送ケーブルを接続します。



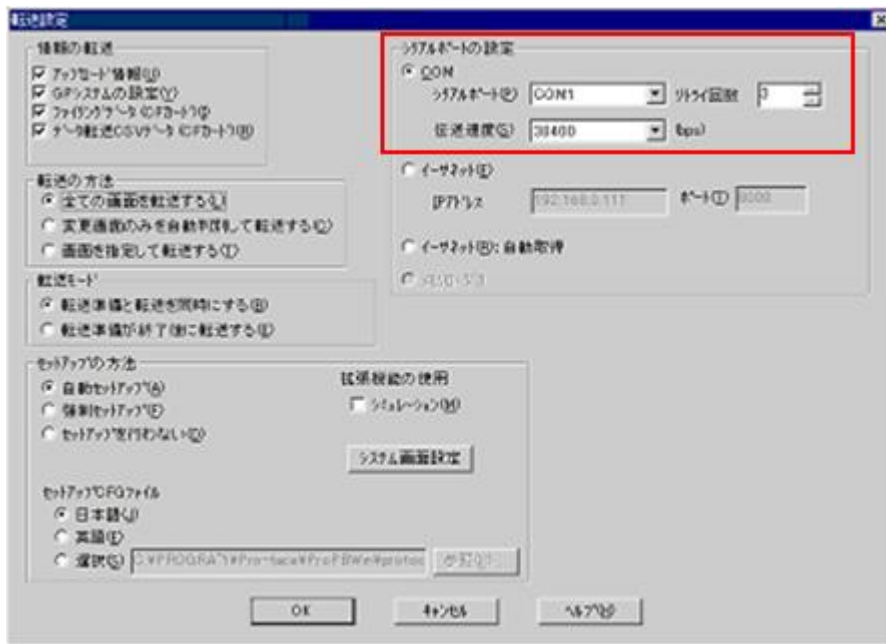
2. GP-PRO/PBIII for Windows を起動し、プロジェクトマネージャの画面から「転送」アイコンをクリックします。(任意のプロジェクトファイルを選択します。)



3. 「画面の転送」ウィンドウのメニューバーの「設定」から、「設定」をクリックします。

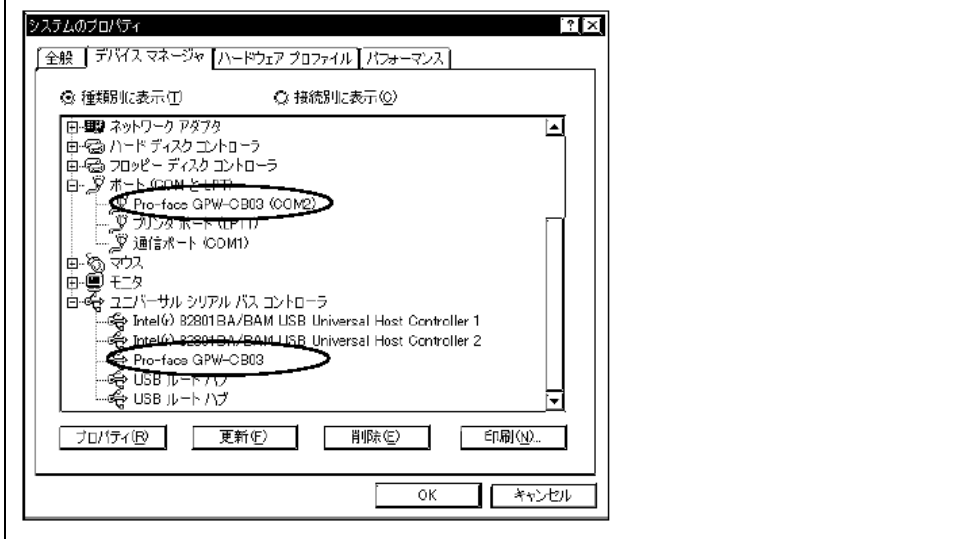


4. 「シリアルポートの設定」で「COM」を選択し、接続している COM ポートを設定して「OK」をクリックします。

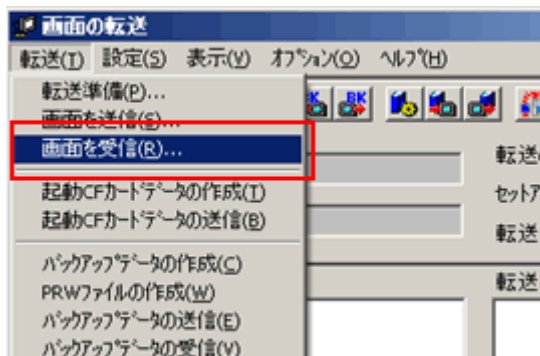


USB 転送ケーブル (GPW-CB03) をご使用の場合

パソコンに割り当てられている USB 転送ケーブル (GPW-CB03) 用の COM ポートの番号は、Windows のデバイスマネージャで確認することができます。



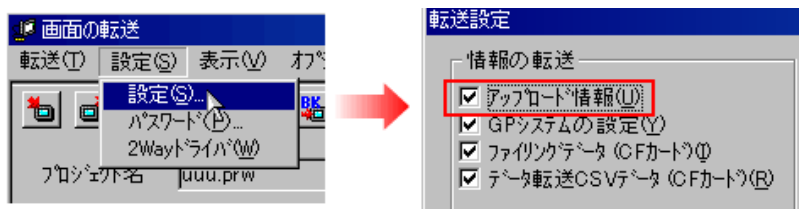
5. 「転送」をクリックし、「画面を受信」を選択します。



- 受信した画面データを保存する場所とプロジェクトファイル名を指定し、保存します。

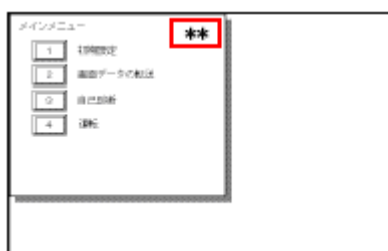
「アップロード情報がありません」と表示された場合

「アップロード情報」とは、GP-37W2 本体から画面データを受信するために必要な情報で、画面を送信する際に一緒に送ります。デフォルトではアップロード情報は送信されますが、第三者による画面受信をブロックする目的で、アップロード情報のチェックボックスを OFF して送信する場合があります。



なお、アップロード情報が送信されているかどうかは、以下の方法で確認することができます。

- GP-37W2 本体をオフラインメニューに切り替えます。
- メインメニューの下図の位置に「* マーク」が2つ表示されている場合は「アップロード情報」が送信されています。



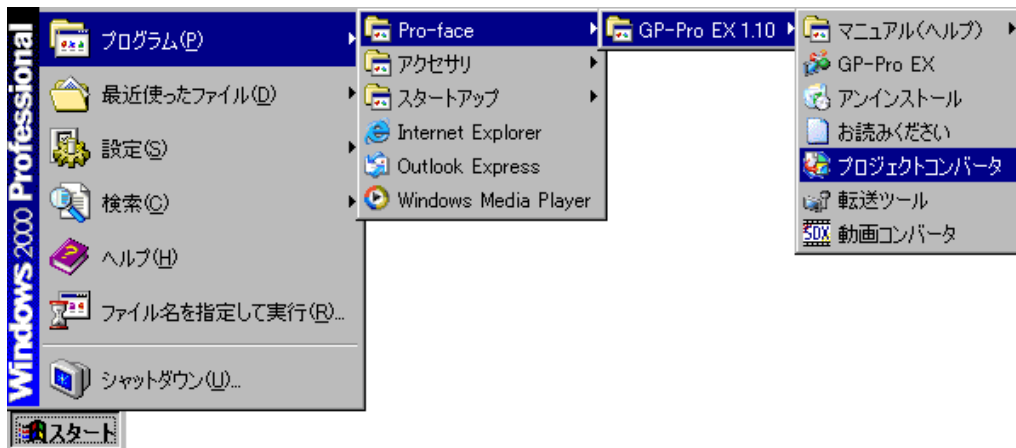
表示がない場合は「アップロード情報」がありません。

この場合、画面受信時に「アップロード情報がありません」と表示され、受信ができません。

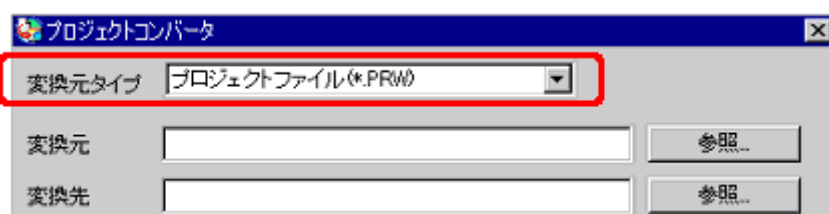
3.4 プロジェクトコンバータで変換する

GP-37W2 のプロジェクトファイル (*.prw) を、GP-Pro EX のプロジェクトコンバータで変換します。

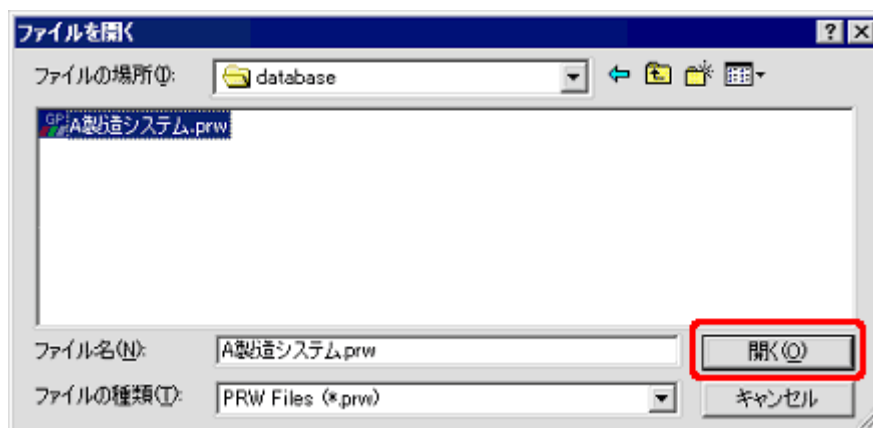
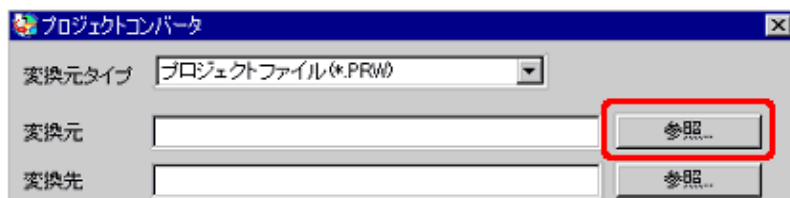
- 「スタート」ボタンから「(すべての) プログラム」→「Pro-face」→「GP-Pro EX *.*」→「プロジェクトコンバータ」をクリックします。(「*.*」にはバージョンが表示されます)

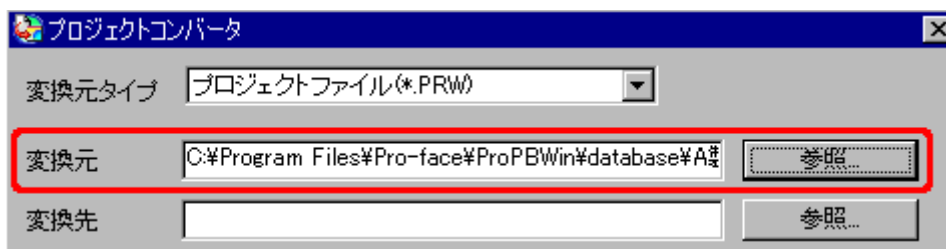


2. プロジェクトコンバータが起動して、「プロジェクトコンバータ」ダイアログボックスが開きます。「変換元」タイプに「プロジェクトファイル (*.PRW)」を選択します。

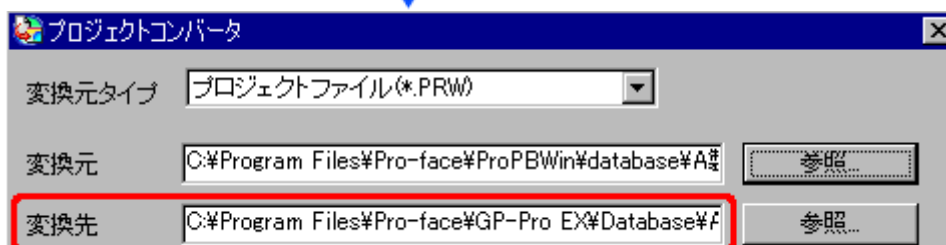
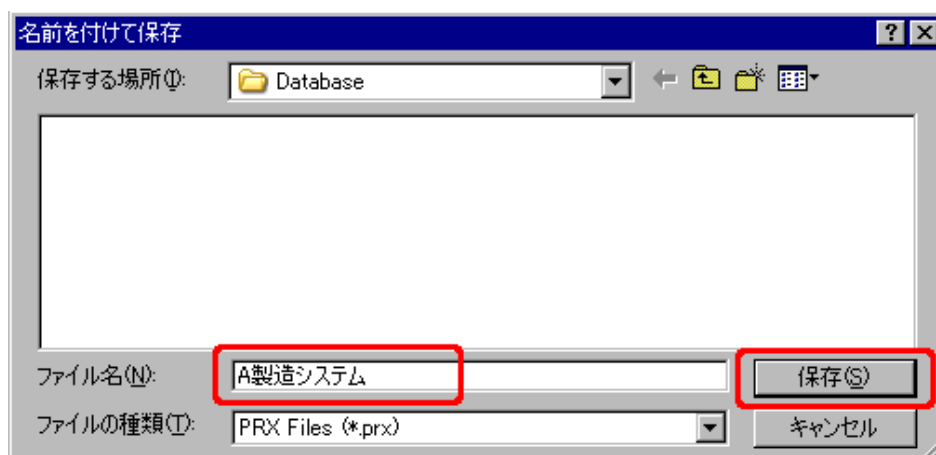
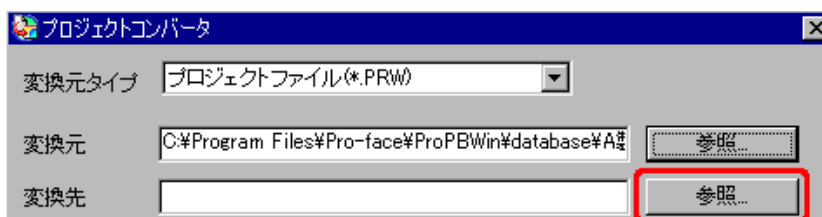


3. 「参照」ボタンをクリックして任意のプロジェクトファイル（例：「A 製造システム.prw」）を選択し、「開く (O)」をクリックすると、「変換元」に指定されます。



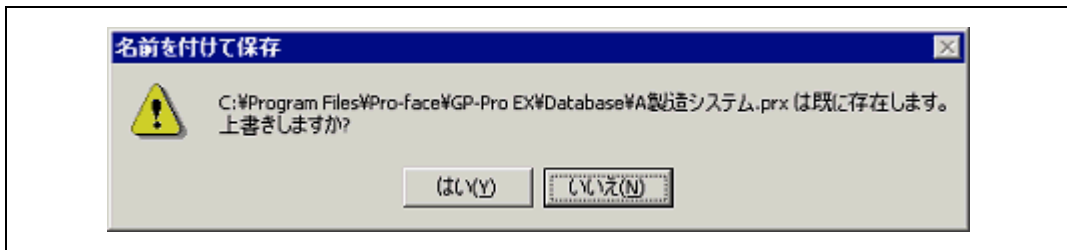


4. 「変換先」にはGP-Pro EX のプロジェクトファイル (*.prx) を指定します。
「参照」ボタンをクリックして「ファイル名」(例:「A 製造システム.prx」)を新規で入力し、「保存」をクリックすると「変換先」に新規プロジェクトファイルが指定されます。

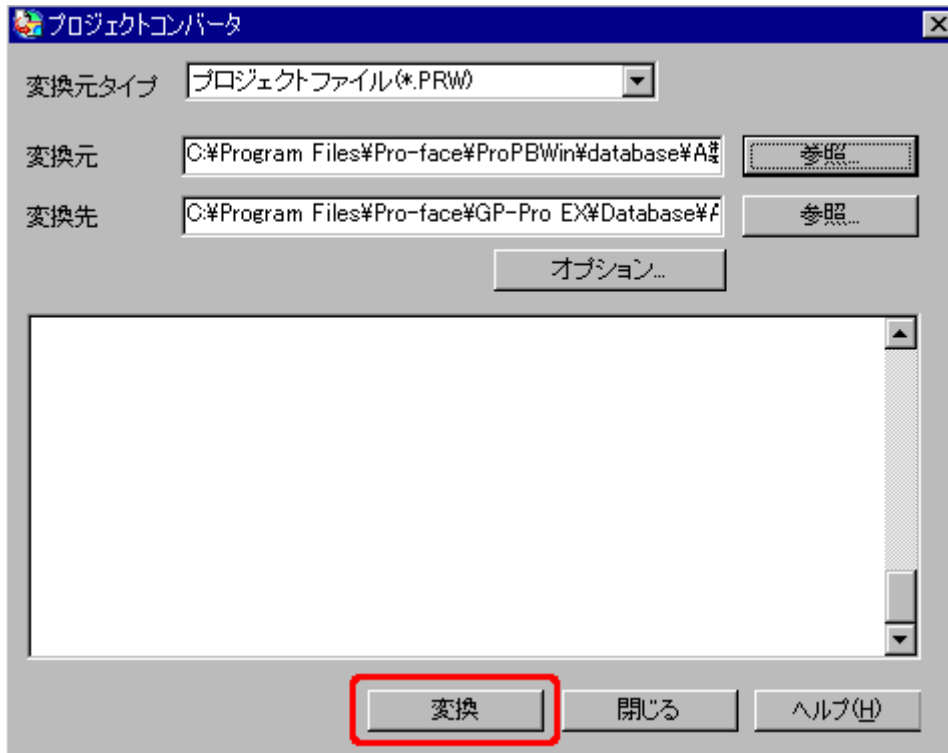


MEMO

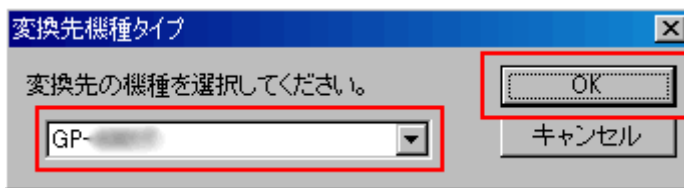
すでに変換先のファイルが存在する場合は、ファイルを上書きするかどうかを確認するウィンドウが表示されます。

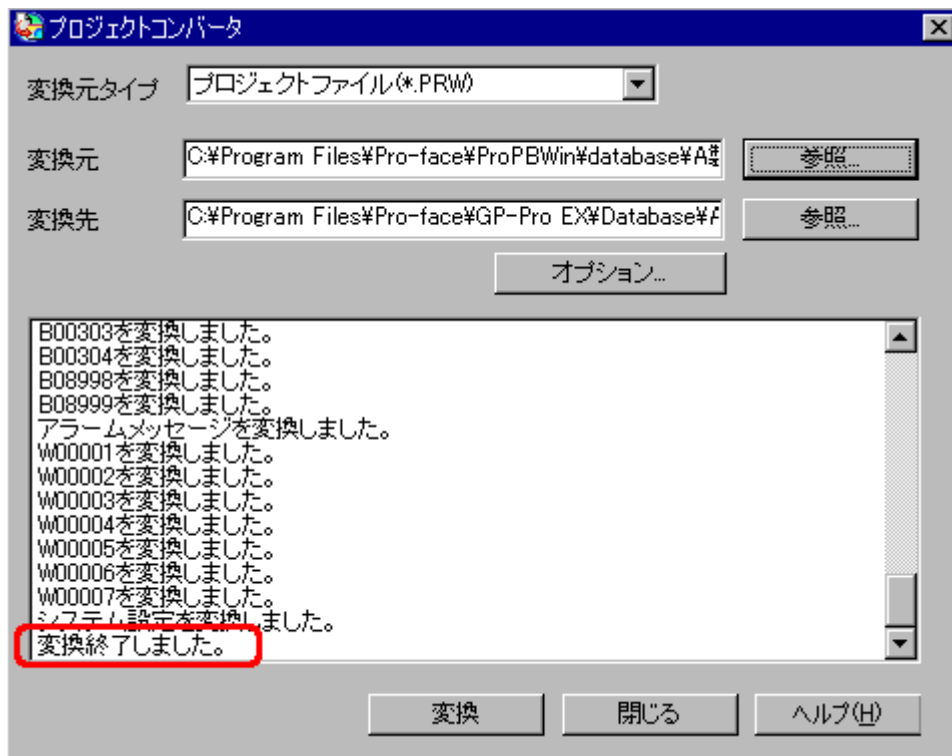


5. [変換]をクリックして、コンバートを開始します。



6. 「変換先機種タイプ」の選択画面が表示された場合は「GP-4301TW」をプルダウンから選択し、「OK」をクリックしてください。





コンバート途中でエラーが表示された場合は…

プロジェクトコンバート途中でエラーが表示された場合は、おたすけ Pro!

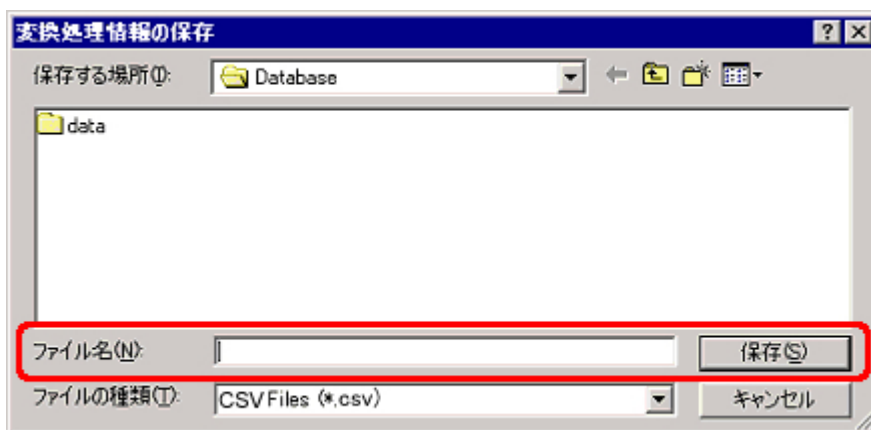
(<http://www.proface.co.jp/otasuke/>) の「[プロジェクトコンバートエラー情報](#)」

(http://www.proface.co.jp/otasuke/circle/conv_3000/soft/project_converter_error.html)

を参照し、原因と対処方法をご確認ください。

7. 変換後、「変換処理情報の保存」ダイアログボックスが表示されます。

「保存」をクリックすると、「変換処理情報」(変換ログ)を CSV ファイル形式で残すことができます。



MEMO

保存した CSV ファイルには、GP-PRO/PBIII for Windows からの変換時の相違点が記述されているため、変換処理情報をもとにコンバート後のプロジェクトファイル (*.prx) の確認、修正を行うことができますようになっています。

8. 「プロジェクトコンバータ」ダイアログボックスを「閉じる」で終了します。

9. 変換したプロジェクトファイル (*.prx) をダブルクリックすると GP-Pro EX が起動し、ファイルが開きます。

3.5 GP-4301TW へ転送する

変換を行ったプロジェクトファイルを GP-4301TW へ転送します。

GP-4301TW は、

- ・ USB 転送ケーブル (型式 : CA3-USBCB-01)
- ・ USB データ転送ケーブル (型式 : ZC9USCBMB1)
- ・ 市販の USB ケーブル (USB Type A/mini B)
- ・ USB メモリ
- ・ イーサネット経由

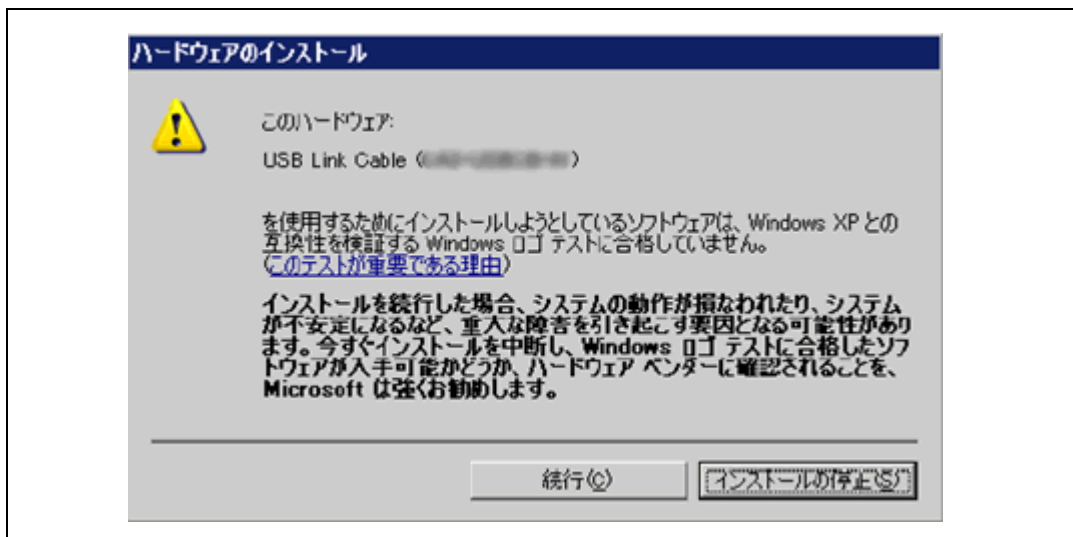
での転送が可能ですが、ここでは例として USB 転送ケーブル (型式 : CA3-USBCB-01) で転送する方法をご紹介します。



1. USB 転送ケーブル (型式 : CA3-USBCB-01) を接続します。
USB 転送ケーブルのドライバがインストールされていない場合はダイアログボックスが表示されますので、指示にしたがってインストールしてください。

MEMO

Windows® XP のセキュリティレベルによっては、USB ドライバインストール中に下記のような「ハードウェアのインストール」ダイアログボックスが表示されます。「続行 (C)」をクリックするとドライバのインストールが開始されます。インストールが終了したら、「完了」をクリックします。



MEMO

Microsoft Windows® 7 で以下の現象が発生した場合は、

おたすけ Pro! (<http://www.proface.co.jp/otasuke/>) から「[USB Data Transfer Driver](#)」のアップデートを実行してください。

- ・ GP-Pro EX もしくは転送ツールのインストール時にエラーが発生した場合
- ・ USB 転送ケーブル (型式 : CA3-USBCB-01) を使って転送した際にエラーが発生した場合

2. GP-4301TW の電源を ON すると「初期転送モード」画面が表示されます。

一度プロジェクト転送を行うと、以降この画面は表示されません。

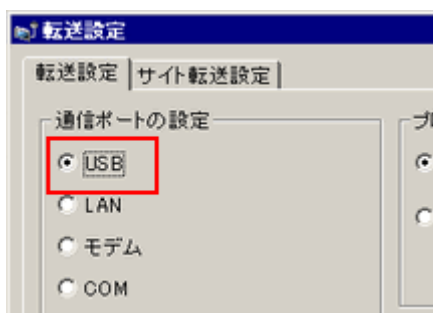


- GP-Pro EX の状態バーから「画面転送」アイコンをクリックし、転送ツールを起動します。

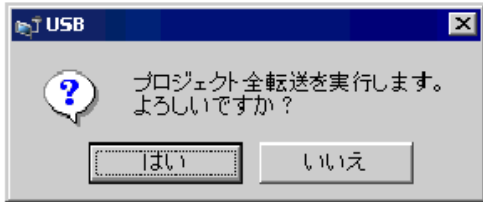


違うプロジェクトを転送したい場合は、「プロジェクト選択」ボタンをクリックしてプロジェクトを選択できます。

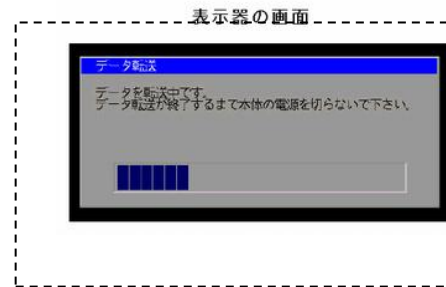
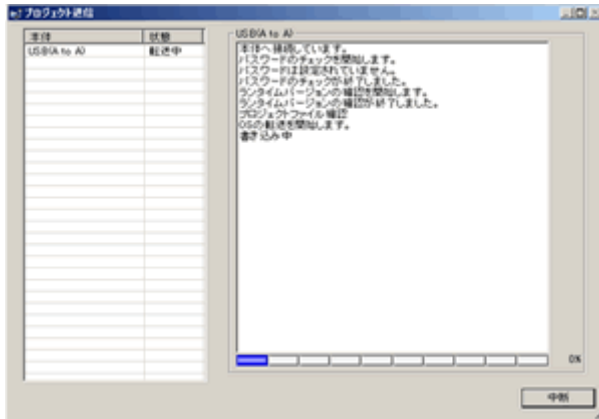
- 転送ツールウィンドウ右下の「転送設定情報」で、「通信先」が「USB」になっていることを確認します。
「USB」でない場合は「転送設定」をクリックし、「転送設定」ダイアログボックスから「通信ポートの設定」で「USB」を選択して「OK」をクリックします。



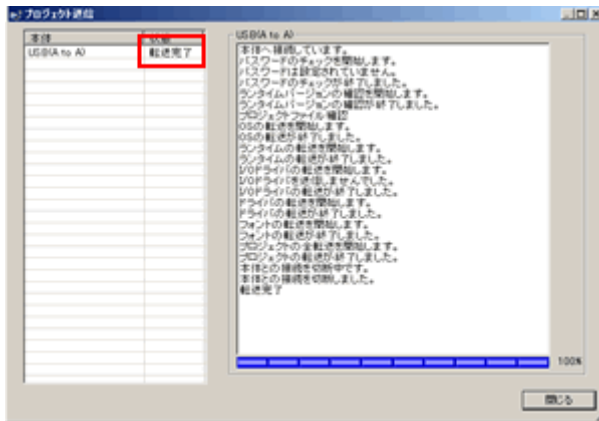
- 「プロジェクト送信」をクリックすると転送が開始されます。
次のようなダイアログボックスが表示されるので、「はい」をクリックします。同じプロジェクトファイルを再度送信する場合は表示されません。



6. 転送中は次のダイアログボックスが表示され、通信状態が確認できます。
 (表示器側は転送中モードに切り替わり、接続機器 (PLC など) との通信が切断された状態になります。)



7. 転送が完了すると、ダイアログボックスの状態表示が「転送中」から「転送完了」に変わります。「閉じる」をクリックしてダイアログボックスを閉じます。



表示器はリセットされ、転送したプロジェクトの画面が表示されます。

8. 転送ツールの「閉じる」をクリックします。
 9. 画面右上の「x」マーク、もしくは[プロジェクト (F)] → 「アプリケーションの終了」 ををクリックして GP-Pro EX を終了します。

3.6 ソフトウェアの相違点

3.6.1 変換後の相違点

GP-PRO/PBIII から GP-Pro EX へ変換後の、画面データの相違点とその対処方法です。各項目の詳細は http://www.proface.co.jp/otasuke/circle/conv_3000/soft.htm をご参照ください。

ソフトウェア相違点一覧表

1	タッチパネル方式
2	ビットスイッチの互換性
3	アラームの互換性
4	折れ線グラフの互換性
5	K タグの互換性 (入力順序)
6	K タグの互換性 (書込み方法の違いについて)
7	K タグの互換性 (間接設定について)
8	N タグの互換性
9	折れ線グラフの[過去データ表示]用スイッチをウィンドウ上で使用している場合の注意点について
10	モーメンタリ動作中のスイッチの上のウィンドウ表示について
11	システムウィンドウの表示エリアが重なった場合の動作について
12	タグ処理の変更について
13	部品の上に固定の描画を配置している表示について
14	文字列の互換性
15	塗り込みの互換性
16	CF カードデータの互換性
17	ファイリングデータを CF カードに保存している場合の変換の注意点
18	色数設定を[256 色ブリンク設定無し]にしていた場合の注意点
19	部品を[L (ライブラリ表示) タグ]で呼び出している場合の注意点
20	MRK、CPW ファイルの互換性
21	V タグ、v タグとビデオ画面の互換性
22	拡張 SIO スクリプトの互換性
23	サウンドデータの互換性
24	デバイスモニタの互換性
25	ラダーモニタの互換性
26	J タグ、R タグの互換性
27	DOS の画面データのコンバートについて
28	標準フォントの互換性
29	D スクリプトが「画面切替直後」または「電源投入直後」に起動する (D スクリプトの起動条件についての互換性)
30	ウィンドウ画面を呼び出したときに位置がずれる (U タグの互換性)
31	階層画面切替を使用している場合の注意点について
32	H タグの互換性

第4章 接続機器との通信

4.1 対応通信ドライバー一覧

重要

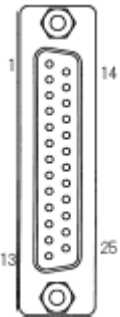
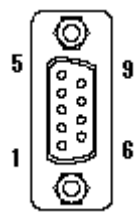
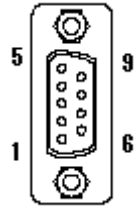
以下の通信ドライバー一覧表は 2011 年 10 月現在のものです。

対応通信ドライバーは今後も続々と追加予定ですので、最新の対応情報は「おたすけ Pro!」をご確認ください。

また、各通信ドライバーが対応する接続機器名やシリーズ名については、「つながる機器一覧」

(<http://www.proface.co.jp/product/soft/gpproex/driver.html>) をご覧ください。

4.2 COM ポートの形状の違い

	GP-37W2	GP-4301TW
COM1	D-Sub25P メス RS-232C/422	D-Sub9P オス RS-232C
		
COM2	-	D-Sub9P オス RS-422/485
		

MEMO

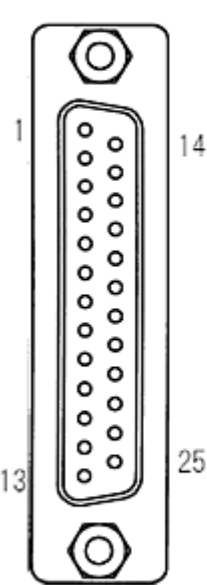
GP-37W2 と GP-4301TW の COM ポートは、ピン配列やオス/メスの形状が異なります。そのため、従来の PLC の接続ケーブルをご使用いただく場合には注意が必要です。従来の接続ケーブルを流用する場合は、「[4.5 置き換え時のケーブル結線について](#)」をご覧ください。

4.3 COMの信号の違い

4.3.1 COM1の信号について

◆GP-37W2の場合

RS-232C または RS-422 (メス)

ピンコネクション	ピン番号	信号名	内容
	1	FG	フレームグランド
	2	SD	送信データ (RS-232C)
	3	RD	受信データ (RS-232C)
	4	RS	リクエストセンド (RS-232C)
	5	CS	クリアセンド (RS-232C)
	6	DR	データセットレディ (RS-232C)
	7	SG	シグナルグランド
	8	CD	キャリアディテクト (RS-232C)
	9	TRMX	ターミネーション (RS-422)
	10	RDA	受信データA (RS-422)
	11	SDA	送信データA (RS-422)
	12	NC	未接続(予約)
	13	NC	未接続(予約)
	14	VCC	5V±5%出力 0.25A
	15	SDB	送信データB (RS-422)
	16	RDB	受信データB (RS-422)
	17	RI	リングインディケート (RS-232C)
	18	CSB	クリアセンドB (RS-422)
	19	ERB	イネーブルレシーブB (RS-422)
	20	ER	イネーブルレシーブ (RS-232C)
	21	CSA	クリアセンドA (RS-422)
	22	ERA	イネーブルレシーブA (RS-422)
	23	NC	未接続(予約)
	24	NC	未接続(予約)
	25	NC	未接続(予約)

◆GP-4301TW の場合

RS-232C (オス)

ピンコネクション	ピン番号	RS-232C		
		信号名	方向	内容
 <p>(本体側)</p>	1	CD	入力	キャリア検出
	2	RD(RXD)	入力	受信データ
	3	SD(TXD)	出力	送信データ
	4	ER(DTR)	出力	データ端末レディ
	5	SG	-	信号グランド
	6	DR(DSR)	入力	データセットレディ
	7	RS(RTS)	出力	送信要求
	8	CS(CTS)	入力	送信可
	9	CI(RI) VCC	入力 /-	被呼表示 +5V±5% 出力 0.25A ※1
	Shell	FG	-	フレームグランド (SG 共通)

※1: 9番ピンの RI/VCC はソフトウェアで切り替えて使用します。

VCC 出力は過電流保護されていません。

誤動作、故障の原因となりますので電流定格を守ってご使用ください。

4.3.2 COM2 の信号について

◆GP-37W2 の場合

ありません。

◆GP-4301TW の場合

RS-422/485 (オス)

ピンコネクション	ピン番号	RS-422/RS-485		
		信号名	方向	内容
 <p>(本体側)</p>	1	RDA	入力	受信データ A(+)
	2	RDB	入力	受信データ B(-)
	3	SDA	出力	送信データ A(+)
	4	ERA	出力	データ端末レディ A(+)
	5	SG	-	信号グランド
	6	CSB	入力	送信可 B(-)
	7	SDB	出力	送信データ B(-)
	8	CSA	入力	送信可 A(+)
	9	ERB	出力	データ端末レディ B(-)
	Shell	FG	-	フレームグランド (SG 共通)

4.4 マルチリンク接続について

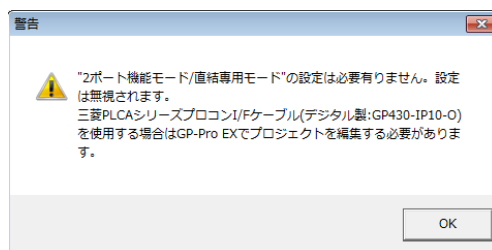
GP-4301TW では、RS-422 でのマルチリンク接続 (n:1) に対応していない通信ドライバがあります。対応していない通信ドライバを設定したプロジェクトファイルをコンバートした場合、自動的に (1:1) 接続に変換されます。

シリアルマルチリンク対応の通信ドライバについては、「[シリアルマルチリンク対応ドライバー一覧](http://www.proface.co.jp/otasuke/files/manual/soft/gpproex/new/device/com_mlnk.htm)」 (http://www.proface.co.jp/otasuke/files/manual/soft/gpproex/new/device/com_mlnk.htm) でご確認ください。

4.5 三菱 PLC 内蔵 2 ポート機能について

GP4000 シリーズは、三菱 PLC 内蔵 2 ポート機能を使うことができません。

GP-PRO/PBⅢで「システム設定」→「モードの設定」「オプション」→「内蔵 2 ポート機能」を選択した場合、GP-Pro EX プロジェクトコンバータで変換する際、下記メッセージが表示されます。



4.6 置き換え時のケーブル結線について

GP-37W2 で使用していた接続ケーブルは、GP-4301TW で流用することができます。

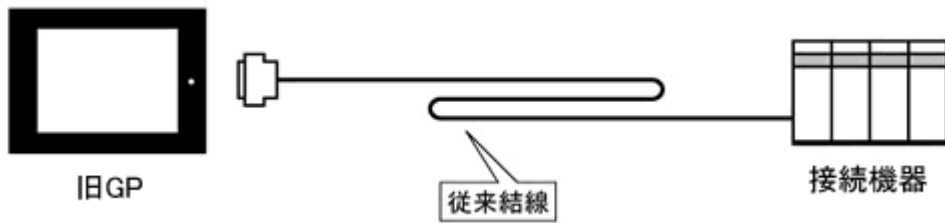
ただし下記の注意事項、制限事項がありますので、ご確認のうえご使用ください。

重要

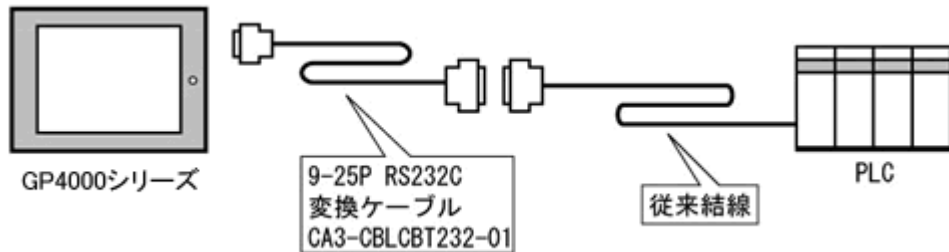
- 接続ケーブル流用前に、GP-4301TW が対応している接続構成を、あらかじめ GP-Pro EX の機器接続マニュアル
(<http://www.proface.co.jp/otasuke/files/manual/soft/gpproex/new/device/index.htm>)
でご確認ください。
- Siemens MPI 接続ケーブル、MPI アダプタ (GP070-MPI-41) は流用できません。
上記 GP-Pro EX の「機器接続マニュアル」にて接続ケーブルをご確認のうえ、新たに GP-4501T/TW 用の接続ケーブルをご用意ください。
- 三菱電機社製 PLC A/QnA/FX シリーズと CPU 直結で接続の場合、注意点があります。詳しくは下記を参照ください。
 - [CPU 直結ケーブル GP430-IP10-O、GP430-IP11-O をご使用の場合](#)
>>参照「4.6.1 RS-232C 接続のケーブルを流用したい場合」>「三菱 PLC 用直結ケーブルをご使用の場合」
 - [GP2000-CBLA/5M-01 をご使用の場合\(自作ケーブル含む\)](#)
>>参照「4.6.2 RS-422 接続のケーブルを流用したい場合」>「三菱 A/QnA シリーズ (CPU 直結) の接続ケーブル (GP2000-CBLA/5M-01) をご使用の方へ」
 - [GP2000-CBLFX/5M-01、GP2000-CBLFX/1M-01 をご使用の場合\(自作ケーブル含む\)](#)
>>参照「4.6.2 RS-422 接続のケーブルを流用したい場合」>「三菱 FX シリーズ (CPU 直結) の接続ケーブル (GP2000-CBLFX/5M-01、GP2000-CBLFX/1M-01) をご使用の方へ」

4.6.1 RS-232C 接続のケーブルを流用したい場合

GP-37W2 のシステム構成



GP-4301TW へ置き換え後のシステム構成 (COM1 へ接続)

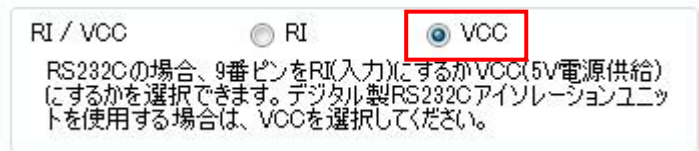


GP-4301TW に置き換えるには、以下のものをご用意ください。

商品名	型式	参考標準価格 (税抜)
RS-232C 9pin-25pin 変換ケーブル (20cm)	CA3-CBLCBT232-01	¥2,000

三菱 PLC 用直結ケーブルをご使用の場合

三菱 PLC 用直結ケーブル (GP430-IP10-O/GP430-IP11-O) を GP-2500T、GP-2501T/S で使用していた場合、プロジェクトファイルの変換後、GP-Pro EX の接続機器設定より“VCC”を選択してください。選択いただかなかった場合は、通信が正常に動作しませんので、ご注意ください。

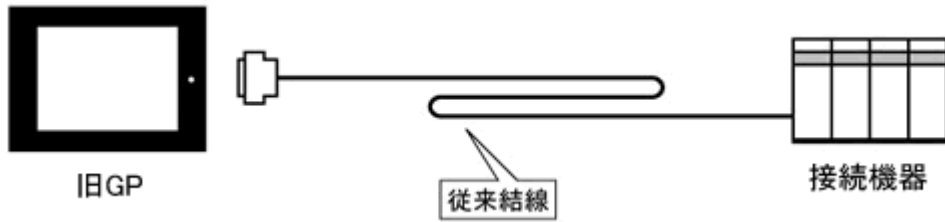


設定変更方法:

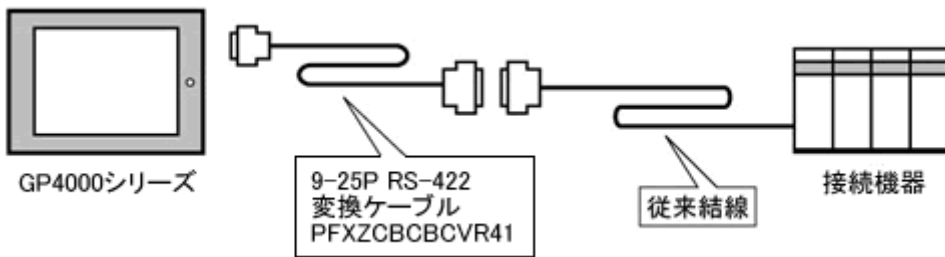
GP-Pro EX 『プロジェクト』 → 『システム設定』 → 『接続機器設定』 より選択できます。

4.6.2 RS-422 接続のケーブルを流用したい場合

GP-37W2 のシステム構成



GP-4301TW へ置き換え後のシステム構成 (COM2 へ接続)



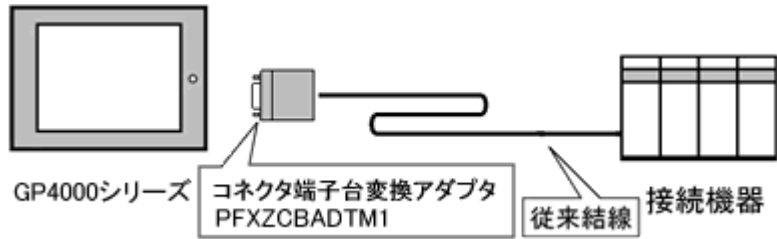
※GP4000 シリーズとの接続前に、必ず「接続機器設定」でポートの設定を「COM2」に変更してください。また、念のため GP-Pro EX の機器接続マニュアルで通信設定も再度ご確認ください。

GP-4301TW に置き換えるには、以下のものをご用意ください。

商品名	型式	参考標準価格 (税抜)
RS-422 9pin-25pin 変換ケーブル(20cm)	PFXZCBCBCVR41	¥2,000

MEMO

端子台変換アダプタ (GP070-CN10-O) をご使用の場合は、GP4000 シリーズ用のコネクタ端子台変換アダプタ (PFXZCBADTM1) に置き換えることをおすすめします。



この接続方法で置き換える場合には、以下のものをご用意ください。

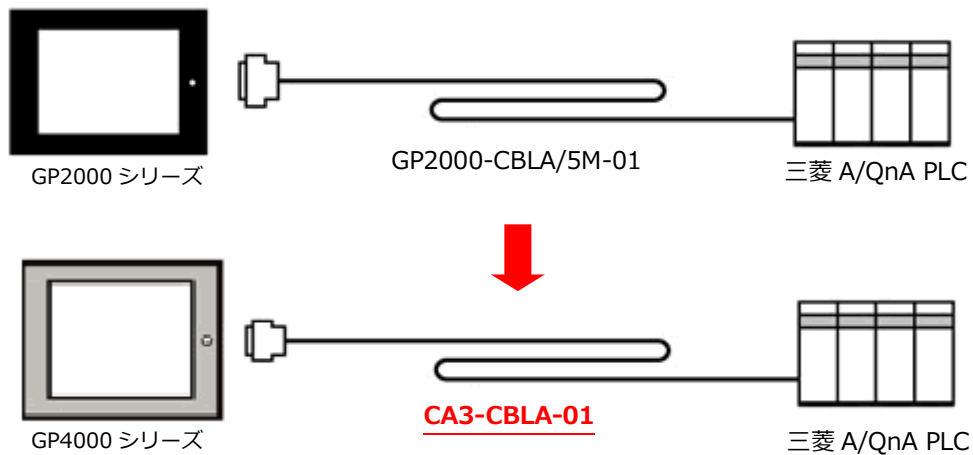
商品名	型式	参考標準価格 (税抜)
コネクタ端子台変換アダプタ	PFXZCBADTM1	¥2,000

三菱 A/QnA シリーズ (CPU 直結) の接続ケーブル (GP2000-CBLA/5M-01) をご使用の方へ

※自作ケーブルも含む

9-25 ピン変換ケーブルは使用できません。

必ずデジタル製三菱 A 接続ケーブル (CA3-CBLA-01) に置き換えてください。

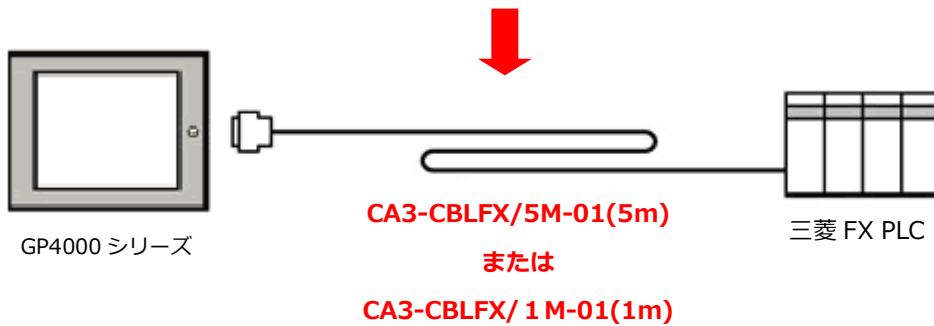
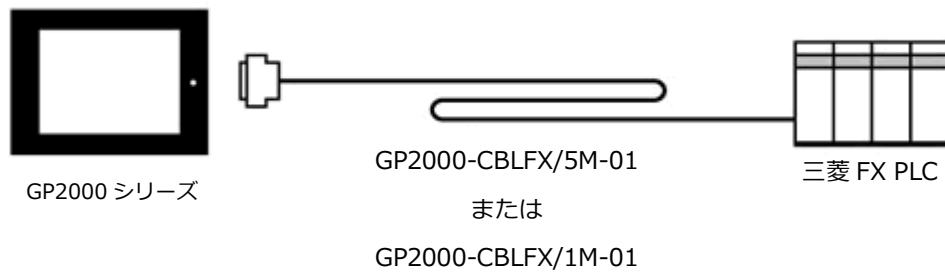


GP4000 シリーズで 使用できない オプション品
× RS-422 9pin-25pin 変換ケーブル (20cm) (PFXZCBCBCVR41)
× COM ポート変換アダプタ (CA3-ADPCOM-01)
+ RS-422 9pin-25pin 変換ケーブル (20cm) (CA3-CBLCBT422-01)

三菱 FX シリーズ (CPU 直結) の接続ケーブル (GP2000-CBLFX/5M-01、GP2000-CBLFX/1M-01) をご使用の方へ * 自作ケーブル含む

9-25 ピン変換ケーブルは使用できません。

必ずデジタル製三菱 FX 接続ケーブル(CA3-CBLFX/5M-01(5m)または CA3-CBLFX/ 1 M-01(1m)) をご使用ください。



GP4000 シリーズで使用できない**オプション品**

- × RS-422 9pin-25pin 変換ケーブル (20cm) (PFXZCBCBCVR41)
- × COM ポート変換アダプタ (CA3-ADPCOM-01)
+ RS-422 9pin-25pin 変換ケーブル (20cm) (CA3-CBLCBT422-01)